

## 第2学年 技術科 年間学習計画と評価

### 1 教科目標等について

目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。</p> <p>(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
教科書	技術・家庭 技術分野 (東京書籍)
副教材	電気製作教材

### 2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト、実技テスト</li> <li>・ワークシートへの記述</li> <li>・授業の様子や発言内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト、実技テスト</li> <li>・授業の様子や発言内容</li> <li>・振り返り、ワークシートへの記述</li> <li>・指導に対する成果物（レポート、作品等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子や発言内容、他者との協働</li> <li>・指導に対する成果物（レポート、作品等）</li> <li>・振り返り（自己・相互評価）</li> </ul>

### 3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。</li> <li>・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートやプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。</li> <li>・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。</li> <li>・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。</li> <li>・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。</li> </ul>

#### 4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物育成の技術についての基礎的・基本的な知識・技能</li> <li>・生物育成の技術による問題解決</li> <li>・社会の発展と生物育成の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な栽培ができる。</li> <li>・作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則について理解することができる。</li> <li>・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解することができる。</li> <li>・栽培記録をまとめ、学習した生物育成の技術の見方・考え方を活用し、見えてきた問題点を解決したり、改善点を考えたりすることができる。</li> <li>・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解することができる。</li> <li>・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物を育成する計画を立て、生物育成の技術を評価し、適切に選択・管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良や応用をしたりすることができる。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換についての基礎的・基本的な知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則やエネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みを理解することができる。</li> <li>・回路図の通り電子部品を配置し、実験を通して電子部品の働きを理解することができる。</li> <li>・発電や送電の仕組みを理解することができる。</li> <li>・電気機器の安全な使用方法を知る。</li> <li>・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取ることができる。</li> <li>・機械の運動を伝える仕組みを理解することができる。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換の技術による問題の解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等を行うことができる。</li> <li>・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決することができる。</li> <li>・道具の正しい使用方法を身に付け、適切なはんだづけを行うことができる。</li> <li>・作品が安全に使用できるか点検することができる。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「発電式作品の製作」</li> <li>「テーマに合った機能を持つ電気自動車の製作」</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の発展とエネルギー変換の技術</li> </ul>	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報についての基礎的・基本的な知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念を理解することができる。</li> <li>・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択・管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報についての基礎的・基本的な知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の表現、記録、計算、などについて基礎的な技術の仕組みを理解し、活用することができる。</li> </ul>